

授業科目名	プレゼミ	単位数	2
担当教員名	専任教員	担当形態	複数
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>本科目は、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の3つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけ、共生科学の学位を取得するための、学修方法を獲得するための基礎となる科目である。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 大学における学修方法を理解する。 (2) レポートの書き方を修得する。 (3) 人的学修ネットワークをつくる。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>この科目は、大学で学修する初心者に向けて、まず、学修指導書、テキストの読み方、レポートの書き方を学修することを目的としている。通信制の学びは、1単位あたり45時間の自宅学習が基本であり、ただ、1600字程度のレポートを書けばいいだけではない。具体的には、テキストを読み進めていく中で、文章の要約を練習し、重要なポイントを抽出するスキルを獲得する。また、先人や先行研究に対してリスペクトを示し、剽窃など不正行為にならない適法引用とは何かを学びながら、「序論、本論、結論」、「はじめに、目的、方法、結果、考察」などの構成、段落の使い方、文章表記などの大学におけるレポート作成の技法を学びながら、課題に対して自分の言葉で考察を述べる力を修得する。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：学修指導書の読み方 第2回：テキストの読み方 第3回：テキストの要約 第4回：論文・レポート・随筆等文章の違い 第5回：学んで、問う（学問）の課題設定 第6回：テーマ設定 第7回：レポート構成（「序論、本論、結論」、「はじめに、目的、方法、結果、考察」など） 第8回：段落の役割 第9回：文章表記の方法 第10回：文献検索の方法① 第11回：文献検索の方法② 第12回：適法引用とは 第13回：剽窃等不正行為とは 第14回：テーマに沿ったレポート作成① 第15回：テーマに沿ったレポート作成② 定期試験 レポート方式</p>			

スクーリングでの学修内容

文章の要約方法を学ぶ。適法引用を学ぶ。文章構成の仕方を学ぶ。
実際の他の科目のレポートを持参し、書き方についての助言をもらう。

教科書

河野 哲也（2018）『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶應義塾大学出版会

参考文献

- （1）本田 勝一 『日本語の作文技術』朝日新聞社
- （2）田中 共子 『よくわかる学びの技法』ミネルヴァ書房

学生に対する評価

スクーリング評価（50%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。